

結城農業かわら版

第162号

令和6年2月20日

発行元：結城地域農業改良普及センター

TEL：0296-48-0184

FAX：0296-48-2682



QRコードから
HPにアクセス

異常気象や担い手不足に負けない米づくり

1月17日に結城地域農業改良普及センター主催で「今後の米づくりを考える研修会」を開催し、管内の生産者や関係機関等62名が参加しました。

はじめに、農林水産省関東農政局茨城県拠点から、今後の米の需給見通しや「水田活用の直接支払交付金」の制度変更（5年間水を張らないと交付対象農地から除外される5年水張りルール、飼料用米の一般品種への助成の段階的引き下げ）について説明がありました。

続いて、当センターから、近年の登熟期の高温による品質低下を打開する一手段としての高温耐性品種導入による「高温対策」について説明しました。

最後に、農業総合センター及び当センターから高齢化や担い手不足に伴う大規模化に対応する「スマート農業の概要」、飼料用米における「ドローンを活用した追肥」の実証結果について情報提供しました。

参加者からは、「交付金制度変更の周知はどう行うか」、「制度開始時より資材費が割増しとなっており、設定された交付金では採算が合わない」など活発な意見が出され、大変有意義な研修会となりました。

今後も、当センターでは稲作経営の安定化に向け今後の米づくりを生産者や関係機関ともに考え支援していきます。



研修を受ける生産者と関係機関職員

高品質なレタス生産のための換気方法を学ぶ

1月18・19日、JA北つくば結城園芸部会レタス部では、春レタストンネル栽培の換気作業が始まる時期に合わせた講習会が開催されました。

生産者20名が参加し、種苗メーカー及び普及センターから、レタスの生育ステージ別の適温、換気方法、温度に対するレタスの反応の見分け方等について講習を行いました。

その後、生産者のほ場において、生育状況や換気方法の確認を行いました。

暖冬の影響により生育はやや前進傾向ですが、換気の調節により、品質の良いレタス生産に取り組んでいます。

今後も普及センターでは、野菜産地の発展のため支援を行っていきます。



生産者のほ場での講習

女性農業士がスマート農業の現場を視察

1月17日、結城地域女性農業士会視察研修が開催され、9名が参加しました。新型コロナウイルスの影響により視察研修は3年ぶりの開催となり、今年度はグランベリー大地にていちご狩り及び施設見学を行いました。

まず、普及センターから経営概要等の説明を行い、その後いちご狩りに参加しました。「かおり野」、「スターナイト」といった数品種を食べ比べながら、会員同士で果形や食味（甘さ、酸味）、香りなど品種の特徴を確認しました。

また、吉原将成社長に施設内を案内していただき、いちごの選果作業や養液栽培装置などを見学しました。質疑応答では、栽培方法やスマート農業についての質問などが挙がり、積極的に意見交換が行われました。

参加者からは、「観光、直売などの販売方法や経営について学ぶことができた」、「スマート農業の現場を見学できて有意義な時間を過ごすことができた」との声が聞かれました。

普及センターでは今後も女性農業者活動の活性化のための支援を行っていきます。



↑いちご狩りを楽しむ参加者
吉原社長による施設案内↓



生分解マルチや液肥を使用して所得向上を目指す

1月12日、JA常総ひかり八千代支店において、ジュース用トマト栽培講習会が開催され、生産者約20名が参加しました。当地域はハクサイのみならず全国有数のジュース用トマト産地となっています。

はじめに、加工トマト部会長から、「部会員の努力のおかげで、6年連続出荷量・面積ともに全国1位となることができた。栽培管理を徹底して収量向上を目指していきたい。」とあいさつがありました。

次に、メーカー担当者から、防除暦の変更点や生分解性マルチ使用時の注意点など栽培のポイントについて説明がありました。

また、園芸研究所や普及センターからは、今年度実施した生分解性マルチや液肥灌注等の試験について結果を報告しました。

普及センターでは今後も、関係機関と連携して生産現場の課題を解決することにより生産者の所得向上を支援していきます。



栽培上の注意点を聴く生産者

茨城県の農業情報は「農業いばらき」でチェック！

茨城県の農業に関する情報を提供しています。最新の技術情報や取り組み、事業・制度について掲載していますのでぜひチェックしてください。

【1月の更新記事】

- ・特集〈今だからこそ考える「農業の世代交代」〉
- ・野菜栽培における混合堆肥複合肥料の活用
- ・「いばらき農の6次化商品コンテスト」結果発表！！

HPは
こちらから！

